

授業科目	*マルチメディア・イングリッシュ応用 (Aクラス)				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	TO21608E		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3 DP5-1			
担当教員	林 裕二							
授業概要	<p>1.E-learning の CHieru を教材として英語を多面的に学ぶ。マルチメディア教室の特性をいかして、特にリスニングとリーディングを伸ばす学びをする。</p> <p>2.PCを使つての基本的な英語の文書作成の基礎を学ぶ。</p> <p>3.基本的なブラインドタッチ(タッチタイピング)ができるようになる方法を学ぶ。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1 CHieru の 1,500(学習)マイルを達成できる。これが「レポート外の提出物」として、20%になります。部分点はありません。</p> <p>2 TOEIC の 450 点レベルのリスニングができる。</p> <p>3 基本的な母音と子音の聞き分けができ、音のつながりが理解できる。</p> <p>4ディスプレイを見ながら、ブラインドタッチでの基本的な入力ができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	20	0	0	20	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	10	10					20	
知識・理解 (DP1-2)	20						20	
知識・理解 (DP1-3)	20	10				10	40	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					20		20	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
CHieru 入門リスニング 基本構文 Level 3 を正答率8割以上で解くことができる。				CHieru 入門リスニング 基本構文 Level 2 を正答率9割以上で解答できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション TOEIC Mini Test (Web 上のテスト)	講義・演習	復習	30
2	客室乗務員と乗客との会話(その1)	講義・演習	予習・復習	50
3	客室乗務員と乗客との会話(その2)	講義・演習	予習・復習	50
4	プロペラ機内で、搭乗員と客の会話	講義・演習	予習・復習	50
5	飛行機の中で、客室乗務員と乗客の会話	講義・演習	予習・復習	50
6	タクシーを出して下さい(電話)	講義・演習	予習・復習	50
7	イエローキャブを金曜日に出してもらえますか？	講義・演習	予習・復習	50
8	タクシーを出してもらうための電話	講義・演習	予習・復習	50
9	「今夜、タクシーを出して欲しい」(タクシー会社への電話)	講義・演習	予習・復習	50
10	タクシー運転手と乗客の会話	講義・演習	予習・復習	50
11	バス停まで行くタクシーの中で、運転手と客の会話	講義・演習	予習・復習	50
12	大学構内に入ったタクシーの中で、学生と運転手の会話	講義・演習	予習・復習	50
13	タクシー内で、日本領事館に行きたい客と運転手の会話	講義・演習	予習・復習	50
14	レストランの席を予約する	講義・演習	予習・復習	50
15	まとめ 課題提出	講義・演習	予習	50
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	英検準2級程度のリスニング問題に対応できる知識が理解できていること。			
テキスト	<p>共通テキスト  巽 一朗 (著)  英語の発音がよくなる本  出版社: 中経出版 (2005/03)  ISBN-10: 4806121819  ISBN-13: 978-4806121817</p> <p>授業計画の「進行」:「テーマ・講義内容」に示しているのは、CHleruのダイアログのタイトルです。2回目以降は、これにモノログ も加わります。原則として、1回の授業でダイアログ1つ、モノログ1つを学びます。</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>毎日ウィークリー 音声 ( <a href="http://mainichi-podcasting.cocolog-nifty.com/weekly/">http://mainichi-podcasting.cocolog-nifty.com/weekly/</a> )  学内の情報処理演習室でリンクしているタイピング練習サイト(MyTyping)。これは学外からは、  <a href="https://typing.twi1.me">https://typing.twi1.me</a></p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>前期の「マルチメディア・イングリッシュ基礎」でPCに慣れてきています。更にPCに触れる量を増やすことで、スキルを伸ばしてもらいます。WEB上の教材を使い、いつでもどこでもネット環境があれば学習可能な教材を中心に英語を学びます。バスや電車の待ち時間など、ちょっとした時間を活用して、自分のペースで学習できるのが、このE-learningの最大のメリットです。学びの蓄積は、「学習マイル」で自分で確認できます。タッチタイピングは、社会に出てとても役立つスキルです。少しずつ取りくむ習慣を身につけましょう。</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>音声と文字の関係について、特に音声がつながって聞こえるところに慣れてもらうことが必要です。学びやすい教材を選んでいきますので、授業外にきちんと時間を確保して取り組めば、学習記録(1,500マイル)も達成できます。英語に触れれば触れるほど、聞く力は伸びていきます。授業の進行予定よりも先に進んでも大丈夫です。自動的に送られてくる「週刊英語」の課題にも取り組めば、楽しく学習することができます。</p>			